

4.11

総評青年協集会

を全力でうちめさ

日刊 動労千葉

79.4.7

No. 82

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二二五八・九(公衆電話三二七二〇七)

再度の破壊「オルグ」を粉砕せよ

千葉破壊の数々の悪業がことごとくゆき詰った本部革マル反動分子は、遂にこのもあつたに、国鉄当局へ泣きついて「千葉弾圧を哀願」するという反労働者の本性をさらけ出した。四月二日付で公印を付して「日本国有鉄道総裁高木文雄殿」へ申し入れられた、この「動労申オ12号」なるものを、ゆいゆいは断じて許すことはできない。

の先女として機車車士を送り込み「ジェット燃料先輸送を買って出た彼ら」「みかん列車」問題や「鉄道謀略」など次々と口実を創っては「貨物のみならず、旅客もだん」安定輸送」を高度な戦術だとしてウソブキな先協力している彼ら——現場労働者の苦悶をかえりみず、当局の招待ゴルフにうち興じている高名な労組幹部連中にして、はじめてなせる業と言うほがはない。

「そもそも、この自体、彼らのテラメな組織運営の見本である。いかにあせり・憔悴してこからしても、おおよそお話にもならない「事実誤認」を書き並べるといふのは、全くおさまりの極みである。文中の氏名は架空の人物を挙げたり、「統制処分者」の人数も「ほ名」なのか!？」

怒りも新たに、4.11総決起、4.12「オルグ」粉砕へ

オ一次「オルグ」(3名)でガタガタになり惨たんたる敗走、消耗にうちみしかれ、役にも立たない青年部々などと身内からさえ冷笑された革マル分子は、必死の汚名パンカイとばかりに4.11総評青年協動員に便乗し、数を頼りにおよび腰のオ2次破壊「オルグ」を全国青年部に指示した。

- 4月12日(木)、8時〜20時(指定場所へ8時集合)
- Aブロック 二九〇名 田端支部集合
- Bブロック 二八〇名 品川村南区支部集合

来るなら来い! だがわれわれは関川委員長をはじめとする「匿名」組合員権停止なるお前たちの空前の悪行を眼のあたりにして八つざきにしてもなおあきたらぬ怒りに全員燃えたつていふことをゆめめ忘れるな! いかなる事態に至ることも、全てお前たち自身で責任をとり切らねばならない。

全ての組合員の皆さん! とりわけその先頭を担う各支部青年隊の諸君! 一切の制約をとりはずし、4.11総評青年協集会に圧倒的動員を勝ちとり、その力をもとに職場完全防衛、4.12破壊「オルグ」をこっぴどみじんに粉砕せよ!

当局に「正常化=千葉弾圧」を哀願する本部革マル

動労申第12号 4月2日

千葉問題についての申入れ
わが組合は3月30日第103回臨時中央委員会を開催し、当面する千葉問題について決定した。その内容は

- ①除名=関川宰執行委員長、中野洋書記長、吉野幸成青年部長、片岡一博津田沼支部委員長、②組合員権停止5年=西森巖副委員長、水野正美執行委員布施宇一執行委員、宮内正志地本青年部副部長、田中康宏青年部書記長、③組合員権停止3年=高橋邦彦地本執行委員、吉岡正昭地本執行委員、林熊吉地本執行委員、関豊地本執行委員、以上の処分について決定し、さらに団体交渉等の権限の一切は、中央執行委員会が指名する代表(交渉委員)が行うことも決定した。

従って、千葉地本は動労を代表する一切の権限は消滅したので、貴側は早急に正常化するための指導をされたい。 以上

これこそ世に有名な「革マル」当局連合の明白な実証である。戦局的に叩く組合員や地本をつぶすために当局・権力の弾圧を哀願し、けしかける、この反階級的体質は、三里塚敵対、党派の特質であるが、古くは「滝口青丘部長解雇」攻撃に手をうつて喜こんだ彼ら、近くは「小田田弾圧事件の不当解雇」にまつける仙台地本つぶしの陰謀的やり口を思い出させる。この革マル—当局連合こそ、国鉄本社